

報告者: 自民党富山県議会議員会政調会
富山県教育の未来を考えるPT

交通手段	871		用途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年11月13日	から	活動の概要	富山県教育の未来を考えるPT 県外視察	
	令和5年11月15日	まで		(内容)	(参加者)
場所	・広島県立宮島工業高校 ・広島県立尾道商業高校 ・FC今治高等学校 ・愛媛県立松山南高等砥部分校 ・愛媛県教育委員会 ・高知県立高知国際中学校・高等学校 ・香川県立三木高等学校		別紙	武田慎一 藤井大輔 谷村一成 寺口智之	永森直人 瀬川侑希 鍋嶋慎一郎
				八嶋浩久(13日~14日)	
			金額		金額
鉄道	①218,150円	⑩13,590円	231,740	ガソリン代	⑥ 17,120
国内取扱手数料(旅行会社)		②	8,800	タクシー代	⑦ 2,500
宿泊代		③	149,960	有料道	⑧ 20,620
自家用車	@37 ×	km =		食事代	⑨ 52,500
リース車	@18 ×	km =			
駐車場		④	5,200		
レンタカー		⑤	84,568	計	573,008
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
【JR券代】①②					

領収証

No. 30909

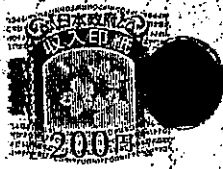
自民党富山県議会議員会
政務調査会 殿

2023年11月22日

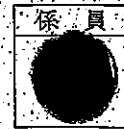
¥ 226,950 -

(税込)

但し富山県教育の未来を考えるPT 県外視察として
上記の金額正に領収致しました



- 本社 富山県奥田新町8番1号 (ボルフアートとやま)
- TEL: 076774-2000 FAX: (076)431-2735
- ファボーレ店 南砺支店 アルファ小杉店
- 名古屋支店 金沢営業所



(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月22日

【鉄道：JR券代】 ニュージャパン支払分

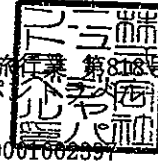
項目	往 路	復 路	金額	政務活動費
JR券代	11/13 武田 慎一 金沢→広島	11/15 新神戸→金沢	26,180	26,180
	11/13 永森 直人 富山→広島	11/15 新神戸→富山	31,460	31,460
	11/13 瀬川 侑希 新高岡→広島	11/15 新神戸→新高岡	31,350	31,350
	11/13 藤井 大輔 富山→広島	11/15 新神戸→富山	31,350	31,350
	11/13 八嶋 浩久 富山→広島	—	18,910	18,910
	11/15 大阪→11/16 京都(特別委員会) →11/17 東京→11/18 仙台→11/19 富山			
	11/13 谷村 一成 黒部宇奈月温泉→広島	11/15 新神戸→黒部宇奈月温泉	32,340	32,340
	11/13 鍋嶋 慎一郎 新大阪→広島	11/15 新神戸→新大阪	14,220	14,220
	11/16 プランディング対策特別委員会<大阪>に合流			
	11/13 寺口 智之 黒部宇奈月温泉→広島	11/15 新神戸→黒部宇奈月温泉	32,340	32,340
小計			218,150 ^①	
国内取扱手数料			8,800 ^②	8,800 ^②
合計 (①+②)			226,950	226,950

【鉄道：JR券代】 八嶋議員 復路分 (※別紙)

JR券代	八嶋 浩久	11/14 松山→岡山 (乗車券)	7,260	13,590 ^⑩
	八嶋 浩久	購入区間 松山～仙台のうち	2,950	
	八嶋 浩久	松山→新大阪までをPTでの政務活動費とする	3,380	

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 御中

観光庁長官登録旅行業 第8168号
（株）ニュージャパ
本社
登録番号：T5230001002397
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ボルファートとやま



TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

				金額
<input type="checkbox"/> 出発日	2023年11月13日 (月)	(A00003)		
<input type="checkbox"/> ツアー名	富山県教育の未来を考えるPT			
<input type="checkbox"/> 明細				
武田 慎一様 JR券代	11/13金沢→広島	カガ シンイチ様	11/15新神戸→金沢	(¥26,180 X 1) ¥26,180
永森 直人様 JR券代	11/13富山→広島	カガ マコト様	11/15新神戸→富山	(¥31,460 X 1) ¥31,460
瀬川 侑希様 JR券代	11/13新高岡→広島	カガ ヨキ様	11/15新神戸→新高岡	(¥31,350 X 1) ¥31,350
藤井 大輔様 JR券代	11/13富山→広島	カガ イサカ様	11/15新神戸→富山	(¥31,350 X 1) ¥31,350
八嶋 浩久様 JR券代	11/13富山→広島	カガ ヒロヒサ様		(¥18,910 X 1) ¥18,910
谷村 一成様 JR券代	11/13黒宇奈→広島	カガ アスナリ様	11/15新神戸→黒宇奈	(¥32,340 X 1) ¥32,340
鍋嶋 慎一郎様 JR券代	11/13新大阪→広島	カガ シンイチ様	11/15新神戸→新大阪	(¥14,220 X 1) ¥14,220
寺口 智之様 JR券代	11/13黒宇奈→広島	カガ トモキ様	11/15新神戸→黒宇奈	(¥32,340 X 1) ¥32,340
同行者 8名 国内取扱手数料				(¥1,100 X 8) ¥8,800
【税込金額合計】【内消費税額合計】				¥226,950

お支払いは弊社下記銀行口座へ
12月4日 までにお振込願います。

ご請求額 *****

ご入金額 *****

今回ご請求額 *****

担当者 XXXXXXXXXX

振込先：北陸銀行 奥田支店 当座 4038850
口座名：（株）ニュージャパントラベル

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

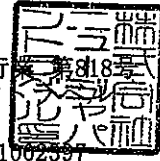
930-8501
富山県富山市新絵曲輪1-7

No. 00514934-01
DATE: 2023年11月21日
PAGE: 2

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 御中

TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

観光庁長官登録旅行業 第818号
(株)ニュージャパン
本社
登録番号: T5230001002397
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ボルファートとやま



TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

		金額
	¥226,950	¥20,631 10%計

お支払いは弊社下記銀行口座へ
12月4日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座 4038850
口座名: (株)ニュージャパントラベル

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

ご請求額	¥226,950
ご入金額	¥0
今回ご請求額	¥226,950
担当者	■■■■

(別紙：⑩の補足)

八嶋議員のJR券代 (11/14)

八嶋議員の日程 (11/13～11/19) ※1

- 11/13 富山県教育の未来を考えるPT視察 (広島県)
- 11/14 富山県教育の未来を考えるPT視察 (愛媛県)
→午後の視察終了後、松山から大阪へ移動 ※2
- 11/15 要望活動 (大阪府)
- 11/16 ブランディング対策特別委員会視察 (京都府)
- 11/17 東海北陸自動車道全線4車線化総決起大会 (東京都)
- 11/18 日台交流サミット (仙台市)
- 11/19 移動日：仙台市→富山

※1 11/13富山発～11/14新大阪駅着分の経費は、教育PT経費とする。
(会派共通経費)

※2 11/14 松山駅→新大阪駅 (JR券) について

券種	発着	金額	政務活動費	
			会派共通	個人
			PT視察経費	11/15～11/19
乗車券	松山→仙台	15,730 ※3	7,260	8,470
特急券	松山→岡山	2,950	2,950	
特急券	岡山→新大阪	3,380	3,380	
		22,060	13,590	8,470 ※4

↑
⑩

※3 乗車券金額のうち、松山～新大阪間を、教育PTとしての経費とする。

※4 乗車券金額のうち、新大阪～仙台間を、個人の政務活動経費とする。

八嶋議員

松山→大阪までの乗車券・特急券

乗車券 (幹)

■■■■■■■■■■

松山 → 仙台市内

經由:予讃・本四備讃・岡山・新幹線・東京・新幹線

11月14日から11月21日まで有効

券面表示の都区市内各駅下車前途無効

11.14

UR 四国

2023.11.-8 新高岡駅F12発行

¥15,730 (7)

特急券

松山 → 岡山

11月14日 (17:37発) (20:12着)

しおかぜ 28号 2号車 3番B席

¥2,950

2023.11.14松山駅M52 (5-夕)

11.14

UR 四国

¥2,950 (1)

新幹線特急券 2日以内に変更

岡山 → 新大阪

11月14日 (20:20発) (21:04着)

のぞみ 62号 全席禁煙 12号車 9番D席

¥3,380

N03060

2023.11.14松山駅M52 (5-夕) 60020-01

11.14

UR 四国

¥3,380 (4)

会派共通政務活動費 (教育 P T 視察経費)	13,590
個人政務活動費	8,470
ア+イ+ウ	22,060

松山(愛媛県)→新大阪

1本前

2023年11月14日(火)16:26出発

1本後

到着時刻順	乗換回数順	料金の安い順
ルート1 16:27→20:04 3時間37分	13,590円 乗換:1回	
ルート2 16:27→20:21 3時間54分	13,270円 乗換:1回	
ルート3 17:37→21:04 3時間27分	13,590円 乗換:1回	

ルート1 16:27発→20:04着 3時間37分 (乗車3時間28分) 乗換:1回
 現金優先: 13,590円 (乗車券7,260円 特別料金6,330円) 394.7km

ルート保存 定期券 ルート共有 印刷する

16:27

松山(愛媛県) 時刻表 | 地図

13駅

JR特急しおかぜ26号・岡山行
 [発] 1番線 / [着] 6番線

19:11着
 19:20発

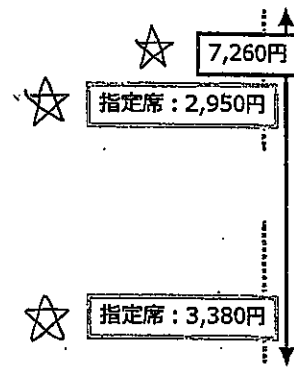
岡山 時刻表 | 地図

2駅

JR新幹線のぞみ56号・東京行
 [発] 23番線 / [着] 25番線

20:04

新大阪 時刻表 | 出口 | 地図



【宿泊代】

宿泊地	利用日	内 容	単価	数	金額	政務活動費
広島	11/13	さくらホテル尾道駅前 朝食付き	11,300	8	90,400	81,360 (③-1)
		ポイント利用分		1	-9,040	
高知	11/14	JRクレメントイン高知 朝食付き (駐車所代は除く)	9,800	7	68,600	68,600 (③-2)
小 計					149,960	149,960 (③)

【駐車場代】

ホテル	11/13	広島	1,000	1	1,000	1,000 (④-2)
	11/14	高知	1,000	1	1,000	1,000 (④-1)
個人		瀬川(高岡)	1,200	1	1,200	1,200 (④-3)
		谷村(黒部)	1,000	1	1,000	1,000 (④-4)
		寺口(黒部)	1,000	1	1,000	1,000 (④-5)
小 計					5,200	5,200 (④)

【レンタカー・ガソリン・タクシー・有料道代】

レンタカー	11/13	12:07 借	84,568	1	84,568	84,568 (⑤)
	11/15	16:59 返				
ガソリン代	11/14		8,068	1	8,068	17,120 (⑥)
	11/15		9,052	1	9,052	
タクシー代	11/15	三宮→新神戸駅	1,500	1	1,500	2,500 (⑦)
			1,000	1	1,000	
有料道			20,620	1	20,620	20,620 (⑧)

【食事代】

食事代	昼食 11/14 (8人) 11/15 (7人)	22,500	1	22,500	52,500 (⑨)
	夕食 11/13 (8人) 11/14 (7人)	30,000	1	30,000	
合計 (③~⑨)					332,468

※ 昼食代1,500円 夕食代2,000円 「政務活動費の手引き」より

No. 8584-1

ご利用明細書

③-1 【宿泊代 11/13分】

Description

お名前(Name)

自由民主党富山県議会議員会

様

登録番号: T2240001051181



さくらホテル 尾道駅前
SAKURA HOTEL ONOMICHI-EKIMAE
〒722-0036 広島県尾道市東御所町5番1号
TEL(0848)29-9390 FAX(0848)29-9391

お部屋 Room	到着日 Arrival	泊数 Nights	出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	ページ Page
608	2023/11/13	1	2023/11/14	8	2023/11/13		1

日付 Date	お部屋 Room	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment
11/13	606	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	607	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	608	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	703	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	705	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	707	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	806	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	807	宿泊料 /	11,300	1	11,300	
	608	クレジット ポイント 10%対象 (内消費税)			90,400 8,218	81,360 9,040
ご署名 Signature					ご利用合計 Total	ご請求額 Balance
会社名 Firm	楽天				90,400	0

(内消費税 (10%) 8,218)

No. 8584-1

領収書

お名前 (Name)

RECEIPT

自由民主党富山県議会議員会

様



さくらホテル 尾道駅前
SAKURA HOTEL ONOMICHI-EKIMAE
〒722-0036 広島県尾道市東御所町5番1号
TEL(0848)29-9390 FAX(0848)29-9391

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
		81,360
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
9,040		81,360

登録番号: T2240001051181

発行月日 (Issue)
2023/11/13

収入
印紙

(消費税対象 (10%) 90,400)
(内消費税 (10%) 8,218)

ご請求明細書

【宿泊代・駐車場代 11/14分】

T3470001002020

自民党富山県議会議員会政調会

お名前 瀬川 侑希様

様



JRクレメントイン高知
JR CLEMENT INN KOCHI

株式会社 JR 四国ホテルズ
〒780-0056 高知県高知市北本町一丁目10番59号
TEL (088)855-3111 / FAX (088)855-3115

お部屋番号 80005 ご人数 7
ご到着 2023/11/14 ご出発 2023/11/15

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
11/14	◇室料	from321	9,800) ￥68,600	③-2
	◇室料	from322	9,800		
	◇室料	from323	9,800		
	◇室料	from324	9,800		
	◇室料	from325	9,800		
	◇室料	from326	9,800		
	◇室料	from327	9,800		
	◇駐車場(代)代	80005	1,000		

ご請求金額 69,600

JRクレメントイン高知に御宿泊頂きまして誠にありがとうございます。
またの御利用をお待ち申し上げます。

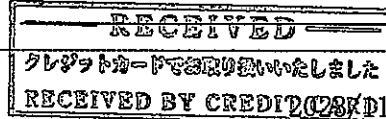
10%対象 69,600 (消費税 6,327)

◇この請求書を仕入税額控除の確証としてご利用いただけます

■:消費税課税対象外 ◎:その他

発行番号 111403138398 C 1 1 3 * GR RC
23/11/14 19:37 012

ご署名



/14 111403138398

領収書

お名前 富山県議会自民党議員会

様

金額 ￥69,600-

但し ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

収入
印紙



JRクレメントイン高知
JR CLEMENT INN KOCHI

株式会社 JR 四国ホテルズ
〒780-0056 高知県高知市北本町一丁目10番59号
TEL (088)855-3111 / FAX (088)855-3115

【駐車場代 11/13宿泊分】 ④-2

□□□□□□□□□□□□□□□□
□ 尾道駅前港湾駐車場 □
□ Tel 0848-23-2900 □
□ 御利用ありがとうございました □
□□□□□□□□□□□□□□□□

領収証

入車日時 2023年11月13日 17時24分
出車日時 2023年11月14日 07時31分
No.01-003975 券No.02-020029

駐車料金 (一般車) 2000円
割引 (宿泊券) 1枚
1000円

料金計 1,000円

投入現金 1,000円
釣銭額 0円

全て消費税10%適用対象
尾道海運株式会社
登録番号: T8240001037885

【駐車場代】 ④-3

瀬川

□□□□□□□□□□□□□□□□
□ 高岡市営新高岡駅立体駐車場 □
□ 高岡市下黒田3001 □
□ TEL 0766-24-4252 □
□□□□□□□□□□□□□□□□

領収証

入車日時 2023年11月13日 06時09分
精算日時 2023年11月15日 21時25分
No.03-000154 券No.01-463400

駐車料金 (JR認証) 1200円

料金計 1,200円
(消費税込み)

投入現金 1,200円
釣銭額 0円

全て消費税10%適用対象
登録番号: T9000020162027
高岡市

④-4

谷村

黒部市営新幹線駅第3駐車場

黒部市
登録番号 T7000020162078
全て消費税10%適用対象

領収証

入庫日時 2023年11月13日 06時51分
出庫日時 2023年11月15日 22時15分
No.01-000033 券No.01-006100

駐車料金 (一般) 1000円

料金計 1,000円

投入現金 1,000円
釣銭額 0円

④-5

寺口

黒部市営新幹線駅第3駐車場

黒部市
登録番号 T7000020162078
全て消費税10%適用対象

領収証

入庫日時 2023年11月13日 06時43分
出庫日時 2023年11月15日 22時15分
No.01-000032 券No.01-006099

駐車料金 (一般) 1000円

料金計 1,000円

投入現金 1,000円
釣銭額 0円



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

【レンタカー料金】 5

貸渡人 株式会社 トヨタレンタリース広島
 広島新幹線口店
 広島市東区若草町22-9

RA610R
 発行年月日: 令和 5年11月15日
 貸渡N. : 2588014

電話番号082-261-0100

借受人 名称 瀬川 侑 希 様
 住所 富山県高岡市井口本江464-1

項目	予定料金	精算料金
基本料金		66,440
カード割引額(5%)		3,322
その他割引額(0%)		0
*		0
小計		63,118
免責補償料		3,300
特別装備料		0
添付品料金		1,650
ワンウェイ料金		16,500
燃料代		0
引取配車料		0
ご利用額		84,568
リース無償代車		0
N O C		0
免責実費料		0
お支払額		84,568
予約金	0	0
船乗車券	0	0
当日預り金	0	0
預り金合計	0	0
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額		84,568

<お貸しする車両>

貸渡車両 ハイエ-AGC 燃料 ガソリン
 登録N. 広島 300わ5843

料金クラス W4-K 車両クラス W4-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	時分	11月15日16時59分	41,409
発	時分	11月13日12時07分	40,619
利用分	日時間分	2日 4時間52分	790

料金種別 一般料金 料金割引率 5%

添付品

乗車人数 1名

返却営業店舗 三宮 078-222-0100 返却府県

運転者氏名 瀬川 侑 希 様

株式会社 トヨタレンタリース広島
 登録番号: T4240001007719

今回ご利用額 84,568円
 10%対象 84,568円 内消費税 7,688円



トヨタレンタカー予約センター

☎0800-7000-111 無料

http://rent.toyota.co.jp

クレジット	84,568
ご請求金額内訳	

領 収 書

領収書N. 0033894
 令和 5年11月15日

瀬川 侑希 様

領収金額 84,568 円
 (税抜金額 76,880 円)

現金・小切手 0 円
 クレジット 84,568 円
 交通系IC 0 円

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
 ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
 (なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 三宮
 住所 神戸市中央区八幡通3丁目
 電話番号 078-222-0100

株式会社 トヨタレンタリース兵庫

本社 神戸市長田区北町2丁目5番地

収入印紙

扱者印

【ガソリン代】 ⑥-1



ご来店ありがとうございます

ご利用控え

2023年11月14日(火)18:20
給油 010000

様 IC R
9661
0-提携クレジット

*レギュラー ¥8,068
N08 42.24L/リットル @191.00
(内ガソリン税 @53.80 ¥2,273)

合計 ¥8,068
(内消費税等 ¥733)
(10%対象金額 ¥8,068)
(内消費税等 ¥733)

商品欄 *内税商品 #非課税商品

一括払い No:0011067 T:38276 8
端末番号 9595500000000
ARCOO ATC0148 JCB Credit
00 A0000000651010
TK219020

太陽石油販売(株)石鐘山SA上線SS
TEL 0898-72-6655
事業者番号 T1500001005095

獲得ポイント :
(基本ポイント :
利用可能ポイント :
獲得ポイントの残高への反映は、
通常4日目を以降に反映されます。
タバコ・税金など、ポイントが付与
されない商品があります
楽天ポイントカードNo: [REDACTED]
取引コード: 1211194002311141820

2023/11/15 9776 No:3382
SC:12111 -1

楽天ポイントカードのキャンペーン
情報をアプリで配信中
期間限定ポイントなど貯まったポ
イントも街のお買い物に使えて便利

R POINT 楽天ポイントカード

【ガソリン代】 ⑥-2



お客様控え
(クレジット領収書)

322751
神戸京橋インター
TEL 0783920386
西日本宇佐美
本社 愛知県津島市埋田町1-8

登録番号 T4180001097758
売上 2023年11月15日 16:44
SEGAWA YUKI 様
クレジット [REDACTED]

レギュラーガソリン P-3(内)
55.20L @164.0 9052円
(税抜 @149.1)
01200.00

合計 9,052円
(内、消費税等(10.00%) 823円)

支払区分:一括
承認No. 0000055600
端末識別番号: 0817501322751
端末処理通番: 04102 ATC: 0149
IC/MS識別子: IC
AID: A0000000651010
JCB Credit
カードシーケンス番号: 00

伝No: 12055 担当: 3182

今がチャンス! 11/14 15 16 17 おせち・お歳暮 早期特典 Usappy ポイント 3倍 2023/10/25(水)~11/20(水)

【タクシー代 三宮→新神戸駅】⑦-1

領 収 書
(ネット/QR決済支払)

No. 2959

日付 2023年11月15日
車番 3030 800
メータ運賃 ¥1,300-
迎車料金 ¥200-

運賃料金計 ¥1,500-
合 計 ¥1,500-
内消費税等 ¥136-
消費税率 10%

登録番号：
T9140001014373
毎度ご乗車ありがとうございます。
甲南タクシー株式会社

領 収 書 ⑦-2

車両番号 0229号
2023年11月15日17:29
毎度ご乗車ありがとうございます。
(現金,チケット,クーポン,カード)

乗車料金 1000円

運賃料金計 1000円

計 1000円
消費税率 10.0%

登録番号 T1140001003342
甲南タクシー株式会社
〒657-0837
神戸市灘区原田通2丁目1番12号
TEL (078) 861-8111番
FAX (078) 861-8114番

【有料道】

利用日	時刻	入	出	金額
11/13	12:15	広島岩国道路 廿日市	広島岩国道路 大野	260
	15:34	広島岩国道路 大野	山陽自動車道 尾道	2,890
11/14	8:49	西瀬戸自動車道 向島本線	西瀬戸自動車道 今治	2,950
	11:23	今治小松自動車道 今治湯ノ浦	松山自動車道 松山	1,490
	19:23	松山自動車道 松山	高知自動車道 高知	3,740
11/15	12:04	高知自動車道 伊野	高松自動車道 高松東	3,650
	16:26	高松自動車道 さぬき三木	神戸淡路鳴門自動車道 布施畑	4,820
	16:40	阪神高速道路 京橋（東行）	出（均一料金）	820
				20,620

8

（政務活動費対象額）

ETC料金	西	オノミチ	23/11/13	1	1	2,890	2,890	2,890
ETC料金	西	オオノ	23/11/13	1	1	260	260	260
ETC料金	西	コウチ	23/11/14	1	1	3,740	3,740	3,740
ETC料金	本四	イマハ	23/11/14	1	1	2,950	2,950	2,950
ETC料金	西	マツヤ	23/11/14	1	1	1,490	1,490	1,490
ETC料金	西	タカマツヒカ	23/11/15	1	1	3,650	3,650	3,650
ETC料金	本四	フセハ	23/11/15	1	1	3,210	3,210	3,210
ETC料金	西	ナルトホンセン	23/11/15	1	1	1,610	1,610	1,610
ETC料金	阪高	フセハ	23/11/15	1	1	820	820	820

合計 ¥20,620

ETC履歴詳細情報

8:51 ETC DCM DCM 11

利用日時: 2023年11月13日12時52分

料金: 260円

利用区間:
広島岩国道路
大野
▲
広島岩国道路
廿日市

ETC履歴詳細情報

8:52 ETC DCM DCM 11

利用日時: 2023年11月13日15時34分

料金: 2890円

利用区間:
山陽自動車道
尾道
▲
広島岩国道路
大野

ETC履歴詳細情報

8:52 ETC DCM DCM 11

利用日時: 2023年11月14日 8時49分

料金: 2950円

利用区間:
西瀬戸自動車道
今治
▲
西瀬戸自動車道
向島本線

視察スケジュール（令和5年11月13日～15日）

令和5年10月16日 現在

月 日	行 程
11/13 (月) (移動) 13:00～14:00 (移動) 16:00～16:50 (宿泊)	広島駅までJR ○広島県立宮島工業高等学校 ○広島県立尾道商業高等学校
11/14 (火) (移動) 9:00～10:00 (移動) (昼食) 13:30～15:10 (移動) 16:00～17:00 (移動) (宿泊)	○F C今治高等学校 ○愛媛県立松山南高等学校砥部分校 ○愛媛県教育委員会 高校教育課
11/15 (水) 9:00～10:00 (移動) (昼食) 14:00～15:00 (移動)	○高知県立高知国際中学校・高等学校 ○香川県立三木高等学校 新神戸駅よりJR

県外・海外政務活動報告書

整理番号	871	会派・議員名 武田、永森、八嶋、藤井、瀬川、谷村、鍋嶋、寺口
活動名称	県外高校の視察(広島、愛媛、高知、香川)と愛媛県教育委員会との意見交換	
目的	富山県では高校再編の議論が進んでいるが、県外の特徴ある高校を視察し、また教育委員会と意見交換することで、富山県の次の高校再編の参考とすることを目的とする。	
日程	令和5年11月13日(月)～令和5年11月15日(水)	
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	広島県立宮島工業高校 広島県立尾道商業高校 FC今治高校里山校 愛媛県立松山南高校砥部分校 愛媛県教育委員会 高知県立高知国際中学校・高校 香川県三木高校	
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	対応者:	
行程・活動内容 別紙参照		

※日帰りの政務活動を含む。

富山県教育の未来を考える PT 県外視察所見

顧問 武田慎一

11月13日(月) 13:00~

・広島県立宮島工業高等学校

デザイン学科等を取り入れ、地元民間講師を先生として生徒に木細工等の授業を展開して地元密着型高校をPRしている。

11月13日(月) 16:00~

・広島県立尾道商業高等学校

女子生徒が8割の高校

富山県内でも女子生徒が通える高校が少なくなっており、尾道市の学生が約9割公共交通も充実させている

11月14日(火) 9:00~

・FC今治高等学校

サッカーの元全日本監督岡田氏が経営者

県外から生徒も募集し進学校を目指している

11月14日(火) 13:30~

・愛媛県立松山南高等学校砥部分校

芸術コースを充実させ、県外募集にも取り組む

何よりも基礎自治体が生徒宿舎を整備し、町づくりにも寄与させる取り組み

11月14日(火) 16:00~

・愛媛県教育委員会

とにかく愛媛県知事のキャプテンシップが強く、定員割れが続く高校に対してはチャレンジシステムの仕組みを作り再編対象校となっても3年間でそのうち1年間だけでも定員オーバーの志願者がいれば再編統合対象校から外している

11月15日(水)

・高知県立高知国際中学校・高等学校

超進学校で国際バカロレラコースを導入しグローバル人材育成の取り組みを行っている

11月15日(水)

・香川県立三木高等学校

一見普通の高校であるが、学生が自分の意志で学び授業時間であっても、先生の所へ出向き、学ぶことができるなど、学生ファーストの取り組みが随所にみられる。

※今回の視察では公立・私立の括りはありましたが、特色はもちろんのこと、知事が積極的に介入していることや、富山県ではやりにくい、やれない取組みばかりで感心した。

※本県でも高校再編が迫っている中、早急に取り組みを始め、数合わせの議論ではなく、地元密着やまちづくりにも寄与できる県立高校でなければならないと思う。

【宮島工業高校（工業探求プログラムの導入事例）】

論理的思考力、課題発見、問題解決能力、表現力、想像力、チャレンジ精神を伸ばす教育。フルカラーの3Dプリンターも導入し、工業探求プログラムに令和3年度の入学生から取り組んでいる。

定員840人に対し、生徒数は656人（男515、女141）と充足率は78%。

【尾道商業高校（商業高校アップデート事例）】

令和元年度より、平川教育長の肝いりで商業、工業高校（令和3年度）のアップデートに取り組み、徹底した探究学習を進めている。

広島県は私立高校との大競争時代。魅力化に取り組まないと生徒が集まらない。

小学科（商業、会計、情報）をすべて廃止し、情報ビジネス学科1つに統合。

くくり募集にして、コースを類型で分けた。

※商業高校においては、ずっとその必要性は指摘されていたが、小学科を統合することにより、学級減のリスクが高まる（学科は減らせない）ことから、なかなかできなかった。教育長が決断した。

カリキュラムの作成には「キャリアリンク」が全面的に関わっており、レベルアップしている。

「キャリアリンク」について、平川教育長との関係が不適切と指摘されているが、報道されている内容とは異なり、現場においては高く評価され、信頼されている。

検定第一という考え方を捨てた。校長先生もかつては、上位の検定を取らせ、ビジネスマナーを叩き込むことが使命と思っていた。そして、上位検定に受からせるためには小学科単位で授業ができることが重要であった。

キャリアリンクとの連携、ネフティのプログラムの実践により、生徒も変わったがなによりも先生が変わった。

マスタールーブリックによる評価（発信力、想像力、協働力、行動力）で結果は着実に出ている。

学校規模については5学級は必要（本当は6が良い）

入学者選抜制度については特色枠と一般枠があり、学校が割合を決める。

スポーツ推薦などで取りたい生徒は取れなくなった（推薦入学なくなったため）

ただし、定員割れをおこしており、ほとんど入試に落ちる心配はない。

⇒県内学校では、検定試験の合格者数にこだわる学校も多いと感じていたが、広島県においては、一歩踏み出し、子どもたち一人ひとりの力を伸ばすことにより力を注いでいるとの印象。

また、商業科の小学科についても今のような体系が良いのかよく考える必要があるのではないか。

【今治 FC 高校（尖った新設私立高校）】

今治 FC 高校は、サッカー日本代表の元監督・岡田武史さんが学園長を務める私立の新設校（前身は今治明德高校）。

高校の位置づけは、今治西高校（愛媛の超進学校）に落ちた人が来る学校であったが、今ではその、今治西高校も定員割れする時代になっている。

前身の今治明德高校は1年生24人で総生徒数も定員240人に対し90人しかいない状況。岡田武史学園長の考えでは、今の日本の子どもは、「遺伝子にスイッチが入っていない状態」。

教育の理念としては

- ① 想定外、板挟み、修羅場と向き合い、決断し乗り切る力をみにつけることを通じて、人間が生きるために本来もっている力を覚醒させること。
- ② 上から引っ張り上げるイメージのリーダーシップではなく、主体性をもって地道に仲間を巻き込みながら力強く社会を変えていくキャプテンシップを身に付けさせること。

探究の時間（週6時間設定）

午前4時限に5教科をやり、午後は外に飛び出す。

PBL（プロジェクト ベイスド ラーニング）

通常は、年間35単位5教科7科目3年間で105単位。これをやらないと共通試験は受けられない。

FC今治高校は76単位（選択で86単位まで取れる）。大学進学などの出口は重要視していない。※学習指導要領の最低は75単位。

10年後には、こうしたカリキュラム普通になっていく。

大学などの出口は重要視していない。

ただし、大学進学についても、総合型選抜も増えてきており、学科試験だけで学生を入学させる学校は少なくなるはずである。

起業をしてほしい。

ひたすら自分をどうしたい、世界をどうしたいということを、圧倒的に自分のことばでしゃべれる生徒を育成していく。

入試は学科試験なし（推薦状とエッセイとオンライン面接、合宿型の面接）のため偏差値はバラバラ（公立中学校と一緒）。

そのため、個別最適な授業をデジタルを使い行う。

全寮制（1, 2年生）で、3年生は外に出ることになっている（地域と関係を築き下宿先を自ら探してくるのが理想）。

授業料は98万円+寮費90万（約200万円）

高額であり生徒が集まらないため奨学金制度（10億円×11社が集まった）

【松山南高校砥部分校（小規模特色校の事例）】

1 学年 1 学級（定員 40 人）のデザイン科の単独高校。

愛媛県の県立高校再編計画により一度は廃校の対象と決定されたが、ゲーム等制作会社「オートクチュール」との連携方針が打ち出されたこと、また砥部町による支援（学生寮の建設など）もあり、令和 7 年度からゲームクリエイションコース新設し、1 学年 2 学級に拡充された。

令和 7 年までに寮 45 人新設（6 億円）←寮建設は砥部町の負担

廃校から一転して存続（5 年間の猶予）となった理由は地元の署名もあるが、民間企業との連携が決まり、さらには「オートクチュール」がサテライトオフィスを学校内につくったことが大きい。

サテライトオフィスには社員が常駐し、特別非常勤講師として、授業も担当する。

オートクチュール特別非常勤講師なので県費がある程度であるが、足りない部分は、砥部町が負担。

（オートクチュール安野さんの話）

株式会社オートクチュール本社は東京、愛媛県松山市

ゲーム制作などクリエイティブ、アプリ開発などシステム、ブランディング、人材派遣イラストレーション、アニメーション、プログラミングなどについて教える。

実際にゲームをつくってもらい、最終的に起業してもらい視野に入れる。

サテライトオフィスが何名か常駐して授業を担当。

【愛媛県教育委員会】

30 年で生徒数は 45% になったが、学校数は 90%。生徒は減っても学校は減っていなかった
平成 2 年 53,000 人⇒令和 3 年 24,000 人（学校は 57⇒55、平均 7.4 学級⇒4.3 学級）

小規模化が進むと科目設定ができない。部活もできない。

県立高校の人気低下し子どもが私立に流れる。公私比率 76:24⇒73:27

多様なニーズへの対応、定員割れしている学校が多くなっている。

小規模校が悪いというわけではないが、小規模校ばかりになるのは適切ではない。

過去の県立高校再編整備

①平成 16～25 前期 1 校、後期 4 校を分校化。

後期 4 校は反対運動で、1 校しかできなかった。手を付けられない案件となった。

②チャレンジシステム

入学生徒数の基準をつくり、基準を満たさない場合、定員減、分校化、廃校

（メリット）地域の理解、地域が学校存続を支援（寮設置、給食、通学費補助）

（デメリット）なかなか学校の数が減らず、周辺の中核校で生徒を減らすしかない

地域からの意見を聴取する機会の仕組み

令和2年に検討委員会を設置20人

令和2年に同時に地域協議会(20市町を8つに分けて設置)・各市町の首長教育長や地域住民、校長 168(各21名)

全生徒からアンケート調査

令和4年7月計画案を策定

地域説明会 パブリックコメント(128名から厳しい意見)

5校について存続を求める会もできた。意見交換した。

学校の魅力化もセット35の新しい学科とコースをつくった

全日制を55⇒45校

計画変更は設置学科の変更、募集停止の延期、統合の1年延期

パブコメの20%くらいは対応できた感じ。

Q 苦労したことは？

1 周知することの大変さ。具体的な校名が出るまで住民は興味を示さない。

2 反対運動(学校に勢いのある時のイメージで話していて、現在の状況を知らない)

賛成(サイレントマジョリティ)は声をあげない。

3 マスコミ対応(反対派に注目する)

4 学校がなくなり地域が衰退するのではなく、地域が衰退するから学校がなくなる

Q 魅力化推進校 具体的に小規模校を市町にどのような支援を求めるか？

チャレンジシステム

市町に活性化協議会をつくってくれと指示。

3年間様子を見るという条件

市町村のアイデア 入学祝い金。通学代を出す自治体もある

【高知国際中学校高等学校】

尾崎知事、課題解決先進県を目指すとの方針から、公立高校への国際バカロレアを決断

H26年の高校再編議論の中で、高知南中学校と高知西高校の統合を決定。

使用言語は日本語 2013年から6教科のうち4教科は日本語でよいとなった。

学校の規模 中学校定員80人、高校は280人

公立高校ならではのメリット

保護者の経済状況に関わらずIB教育

地方でもIB教育受けられる

県全体への波及(ボランティアが義務付け)

IB認定校での教員研修や人事交流

教員の配置は手厚い？

1 一人あたり 14 時間（普通は 18 時間）

バカロレア加配はない。中高一貫の加配。

余裕がないと育成できない。育休などもあり余裕がほしい。

夜間学級導入の経緯と需要は？

対象者 10～70 代

学び直し。不登校であった。学齢期に外国にいた。

開設 3 年目。14 名の生徒（外国籍の生徒はいない）

生徒の背景は違っている。一律におなじ授業は難しい。

授業料は同じ（模擬試験代も考えると少ない）

進学校も負担をお願いしているはず。

【香川県立三木高校】

平成 8 年最も新しいタイプの学校として新設された。三木町に学校なく地元の熱意を受け。

普通科系の専門学科（文理科）と総合学科の併設。

単位制（前期後期）

ある程度柔軟に授業を決められる。

コース（系列）は、国際、流通（商業科に近い）・福祉の 3 つ。

国公立型（共通テスト対策）

私立型（数、理、英）

週 4 時間の空き時間をつくることができる。

コネクティングルームで発表

（褒めてもらえるので、積極的になる）

外の大人と交流する機会が重要

進学実績は 5 年前に 3 倍になっている。生徒の意識があがるとそうなるのかなと思う。

共通入試は文理

推薦入試は総合学科（実体験にもとづいた論文やプレゼンはたかくなる。）

検定合格でもなく、大学進学や就職でもない。

生徒の未来をイメージして、いま教育ができていますか

これから生きていく生徒が何を考え、感じてほしいのか？高校教育で一体何ができるのか？

定員 文理 70、総合 78（もともと 80 人）

1.5 倍の加配があった

平成 10 年ダブル担任制（ふたりとも正担任）

1, 2年は2クラス。3年生は3クラスになる
1年生は3回しながら時間割

総合学科

産業社会と人間

地域愛は強い。自己肯定感が低い（8割が自分は人見知りという）

コネクティングルームとインタビューシップ

出口を問題としていない（将来何をしたいのか、ぶつかったときにどう解決するのか？）
というプランになっている。

香川県中小企業家同友会に77社（家の近くと決めている）

働くことの意味。お金を稼ぐためにいやいやするものと子どもたちは思っている。

企業は若い人に説明させる（企業側でも若い人が育つ）

富山県教育の未来を考えるPT（ 県外視察 所感 ）

自民党 富山県議会議員会 八嶋 浩久 ①

広島県の職業系高校、特に令和3年度入学生から始まることとなった学びの
改革推進事業は、大きな時代の流れ、加速度的な産業・社会の変化への対応と
いうテーマを前面に出した学校変革を学こととなりました。こういった教育改
革が広島県で根付くよう、先生の意識改革にも見習う点が多いと感じた。

広島県立宮島工業高校では地域産業である木工の最新技術で加工された材料
を使って、組子の作成体験ができ、素人の私でも組子づくりが簡単にでき、3
Dプリンターでできるプレートも見学し、ICT技術やDXを目の当たりにし
ました。

工業系デザイン思考を導入し『令和3年度入学制から始まった工業探求プログ
ラムが学校変革の一翼を担い教育改革につながれば良いなあ』と解説をしてもら
った。学校変革のための整備や設備の予算執行額にも大変驚きました。

広島県立尾道商業高校では令和4年度入学生から情報ビジネス科での一括募
集、入試制度も変更。コロナで教員に少し余裕ができ、教師像の変化、改革に
追い風となった。『検定をやめる』『マナー教育を捨てる』など従来の教育から
の脱却を図るため、商業系デザイン思考を取り入れた探求的な学習充実、学力
重視から資質・能力重視の価値観への転換は、まさに挑戦的な教育改革を感じ
ました。

職業系においても、受動的、同調的で記憶型、資格取得型から生徒の主体的、
対話的で課題発見、解決型学習推進への大転換に向け、広島県教育委員会の覚悟
を感じた次第であります。

愛媛県

FC今治高等学校里山校では、2024年開校準備、私学としての特徴を前面に出して、生徒を全国から募集するという学校経営の大転換について学びました。全国、県外からの募集にあたっては、全国にアピールできる特徴ある学校づくりは富山県も参考にすると多いと感じました。

かつて砥部焼の伝統地域産業の人材発掘も含めて存在した愛媛県立松山南高等学校砥部分校デザイン科では、砥部焼のブランディング事業に関わったオートクチュールという民間企業が学校内に事務所を構えおられて、びっくりしました。先進事例として学校存続策として、新しい取り組みを学ぶ機会となりました。砥部町自体が県立学校の存続に自分ごととして捉え、存続のための課題解決に支援する話は富山県では考えも及びませんでした。このように県立高校に地元市町村がたくさん支援するケースとして、現実的に富山県で実現する、しないは別にして、視野が広がりました。市町村住民の理解にも感心しました。募集も減らすのではなくて1クラス増とし、ゲームクリエーションコースの新設にもモデルケースとして注目したいと思います。

愛媛県教育委員会では、やはり、単なる学級数、学校減による学校再編なくて、この際に新設する学科・コース等について興味を持って視察した。新設学科が10、新設コースが29となり、合計39の学科・コース新設がありました。先生の確保や施設整備など課題もあるが、こういった学科・コースの設置を決めてから、その後、学級、学校再編議論に進む道もあることも学びました。富山県でも議論（学科・コースの新設を取り入れてから再編）の可能性に期待したいと思う。

残念ながら視察途中でしたが、このあとの高知県・香川県は他のメンバーに託すこととし、私の視察は終了することになりました。

八嶋浩久 所感

<自民党富山県議会議員会 教育PT 視察>

藤井大輔の視察についての所感

2023年11月13日

■広島県立宮島工業高校

- ・6学科7クラス 素材システム科、建築科、インテリア科があるのが特徴
- ・廿日市市は木工の街（ウッドワン、マリモッコ）
- ・2年前にスマート専門高校（未来の教室）に指定を受け、3.48億円で21種の最新機器を導入（広島県全体では27億円の措置）
- ・広島県の専門高校アップデート、R3から工業高校スタート。ビジネス探求プログラムの拡大、デジタル化に対応した産業教育設備の整備を実施

※地元就職率が悪い（マツダ、中国電力、トヨタなどに行ってしまう）

→地域企業との連携プログラムを実施するも。地元就職率向上につながるのか？

■広島県立尾道商業高校

- ・マスタールーブリックの設定 発信力・創造力・協働力・行動力でレベル1~4
- ・キャリアリンクがコンサルティングに入り、学科改編を実施し3学科から情報ビジネス科の単一学科へ
- ・広島県の入試改革によりスポーツ推薦での入学なしに（それまで100名がスポーツ推薦で入学）。学ぶことへの目的意識の高い学生が集まってきている

※商業高校アップデートにより、子どもたちより先に先生の意識が変わった。ファシリテーション力が向上したことが一因

2023年11月14日

■今治明德高校矢田分校→来年度からFC今治高校

- ・ヒストリック・キャプテンシップ→命をつなぐために生きることを問い、実践する。遺伝子にスイッチを入れる
- ・単位数を最小化（74~76単位）し、野外体験や環境教育、抽象化力育成に注力
- ・全寮制。学業+寮費で200万円/年

※意欲的な私立高校のチャレンジだが、生徒募集に苦慮しているとのこと

■松山南高校砥部分校

- ・デザイン科専門学科 40人1クラス
- ・2027年からの県立高校再編により統合される予定だったが砥部町の自治体努力により継続方針に（5年間の経過措置）

→45名の町立の寮、IT民間企業主導による専門学科の追加設置+サテライトオフィス

- ・地域みらい留学も取り入れ、県外学生の募集も

※自治体が高校を地域の財産として考えた結果、民間との協働により県教委が考えつかなかった学科設置につながった好事例

■愛媛県教育委員会

- ・平成2年から令和3年で中学卒業生が3万人減るも高校は2校減のみ（57校→55校）
- ・平成16年～平成25年の高校再編は、地域の反対運動でとん挫。その代わり、平成24年から10年間、チャレンジシステムを導入。（3年連続60人以下なら定員引き下げ、40人以下なら分校化、30人以下なら募集停止）

→この期間によって自治体の当事者意識が高まってきた

- ・令和5年3月の県立学校振興計画策定に向けて、県内8地区で地域協議会を実施

→それでも反対団体が再編5校全てで設置される。再編に対しての代案を求め、砥部分校については魅力的な提案だったため、再編見直しへ

※高校衰退したから地域が衰退したわけではなく、地域が衰退したから高校が衰退。過去の視点と未来の視点のすり合わせの難しさ。誰もが納得する再編の結論はない。

教育委員会が説明責任を尽くすことと、自治体／地域が当事者意識を持つことが重要

2023年11月15日

■高知県立高知国際中学校・高等学

- ・高知西高校と高知南高校を統合し、中高一貫化
- ・四国で唯一の国際バカロレア（MYP+DP 認定校）
- ・DP資格のためには部活動との両立厳しい
- ・夜間中学も併設

※国際バカロレア校の設置は、プロセスを踏めば県立高校でも実施できる。

IBで育成できる人材と、県が育成したい人材要件が一致している、と高知県が推進

■香川県立三木高等学校

- ・単位制高校（前期・後期制）
- ・普通科系専門科と総合学科と普通科定時制（国際系列／流通系列／福祉系列）
- ・香川県中小企業同友会と連携し、インタビューシップ、ジョブシャドウイングによる、生徒自身の自己肯定感の向上

※総合型選抜による大学進学を目指し、面接・プレゼン能力を高める教育。

総合学科でも大学進学を目指す生徒のニーズに応えることができる好事例

【11月13日（月）】

民間出身の平川教育長の下、地元に残る生徒も多い工業高校・商業高校がもっと魅力的であるべきだ、と広島県は工業高校・商業高校のアップデートに取り組んでいるとのことで、視察先とした。

○広島県立宮島工業高校

女性が2割以上。進学が4割で、就職は6割。国の「スマート専門高校」実現に係る国庫補助等を活用し、3.4億円21台の機械を導入（広島県全体では27億円）、「未来の教室」という教室を準備し、他には無い機器を備え、生徒が自由に使っていい場となっている。

R3から始めた「工業探究プログラム」では、これまでの「技術」から「何を学ぶか」に目的を変えた。これによって生徒は主体的になってきたし、他者と関わる力がついてきたと感じる。「〇〇ができる」だけではなく、「語れる（ナラティブ）」ところまで、生徒を持っていきたいとのこと。この言葉に宮島工業の目指す姿が詰まっていると感じ、同時に富山県の工業高校との違いも感じた。プレゼンも多く、企業や地域からも具体的なプロジェクトが持ち込まれる。

○広島県立尾道商業高校

「商業、会計、情報処理」という3つの科があったが、中学生にとってはイメージがつきにくいいため、「情報ビジネス科」に統一した。1年学んでみて、自分はどの道に進むか選択できるようになった。学びの内容が変わって、協働の力は上がったし、また、先生は明らかに変わった。探究プログラムはR元から。週1回、1日を使って、生徒が自ら課題を発見することを重視している。「マスタールーブリック」という手法で能力の育成の見える化を図っている。探究プログラムは「キャリアリンク」という教育コンサルが開発。探究プログラムを進めるために、「検定指導」と「ビジネスマナー」は犠牲にした。生徒が望めばサポートするが、「授業で検定だけをやるのは違うぞ」と校長は言ってきた。スポーツ推薦も無くしたが、「ここに来たい」と目的意識を持って入学してくる生徒がほとんど。

【11月14日（火）】

以前文科省を訪れた際、愛媛県の高校再編の取り組みを紹介され、視察先とした。また、来年度始まるFC今治高校（私学）、再来年度始まる砥部分校のゲームクリエイションコースなど愛媛県には特徴的な学校があるため、それらも訪れた。

○FC今治高校里山校

既存の私学をリニューアルする形で来年度開校。2クラス。「自分で徹底的に判断、選択する」「夢中になれることを見つける」「修羅場と向き合い、決断し、乗り切る力を身に付ける」ことを目指し、「キャプテンシップ」をコンセプトにする。先生、生徒ともに全国から募集。

通常の学校では 102~104 単位取得するが、76 単位まで減らし、空いた時間で特徴的な取り組みを行う。特に、野外活動や地域の大人との繋がりなど、学校から飛び出すことを意識している。

○愛媛県立松山南高校砥部分校

1 学年 1 クラスで、統合予定校だったが、町の有志による署名活動、町による 6 億円の寮建設など、積極的な町の関わりがあり、存続し、さらに R7 から 2 クラスに。就職が 1 割で、4 年生大学は 2~3 割。県内唯一のデザイン科で、レベルも高く、外部からの依頼がたくさんある。愛媛県にゆかりのあるゲーム制作会社「オートクチュール」が校内にサテライトオフィスを構え、R7 からゲームクリエーションコースを設置。

○愛媛県教育委員会

- ・県立高校の小規模化（多様な科目の開設や部活動等の実施が困難）←ただし、悪いわけではなく、目が届くというメリットもある。選ぶ生徒がいるのも事実。
- ・私立高校への生徒流出（規模が大きく魅力を発信）
- ・情報化・グローバル化（社会の変化や生徒の多様化への対応）

大きくこの 3 点から高校再編の議論が進んだ。

これからの子どもたちによりよい教育環境を、ということを地元住民地元地域にも理解してもらうために、県内 8 地区に地域協議会を設置し、議論。また、計画を公表してからは、地域説明会を行ったり、5 校の「存続を求める会」と協議。「地元をもっと広い範囲で捉えてほしい」と訴えた。

愛媛県教育委員会の取り組みは富山県の再編を考える上で、非常に参考になった。特に前述の地域との意見交換、また「チャレンジシステム」として再編の基準を提示。地域への配慮として、適正規模を 3 学級以上としながらも、3 学級を下回っても、各市町 1 校に限り「魅力化推進校」として存続することが可能とした（志願が 3 年連続 80 人を下回れば原則募集停止だが、魅力化推進校は存続できる。ただし、魅力化推進校も 3 年連続 30 人を下回れば募集停止）。

県だけで高校を維持することは難しく、市町の関わりを求めた愛媛県の取り組みは富山県でもぜひ前向きに検討すべきだと感じた。

【11 月 15 日（水）】

バカロレアに取り組む高校を視察したく、また中高一貫や夜間中学にも取り組む高知国際高校を選んだ。また、地元企業との連携に力を入れる学校ということで三木高校を視察先とした。

○高知県立高知国際中学校・高校

課題解決先進県を目指し、「変化に対応できる」「課題解決能力がある」「グローバル人材」な生徒を育成。

国際バカロレアは、課題が多くスケジュール管理が難しい、発表・演習・課外活動が多い、部活の時間が確保しづらいなどの課題もあるが、授業も見させてもらったところ少人数で生き活きと、主体的に授業に参加している様子がみられた。先生は通常18コマだが、14コマを担当。評価に時間がかかるから。バカロレアの加配はなく、中高一貫の加配などを使いやりくりしている。グローバル科は約80人。20人がディプロマ・プログラム。60人が探究コース。

夜間中学には現状外国籍生徒はいない。10代から70代まで幅広く通っている。

○香川県立三木高校

「単位制」「少人数学級」「二学期制」が特徴の三木高校。特に単位制に関しては、制約はあるが、自分で取るものを決める強みがある。4年生大学への進学率は80%以上で、自分の表現が上手なので大学への推薦入学が多い。

地元企業との連携を大切にしており、1人1企業78人が2日間インターンシップに行っている。企業側からも、若手社員教育のためにメリットがあると評価をもらっている。

富山県内でも単位制の総合学科はあるが、多様な大学入学の道がある中、「自分で科目を選択できる」ことはこれからの時代にとっても非常に魅力的に映り、県内でもより導入できないか、検討すべきだと感じた。

11月13日（月）

○広島県立宮島工業高校

3年間の系統的な探究活動（工業探求プログラム）に取り組んでいる。このプログラムでは、自分の未来への展望を抱きながら、宮島工業高校で何を学ぶのかを考え、企業等と連携し3DCADや3Dプリンタ等を活用して、企業提案を繰り返し、世の中に役立つ、人に役立つことに視点を持ち、地域社会と協働して新しい価値の共創を行うことを目指しており、単に工業系の技術修得を目的にしていけないのが特長であり、県内工業高校との違いを感じた。

○広島県立尾道商業高校

学科を「情報ビジネス科」に統一し、ビジネス探求プログラムによりビジネスへの探求心を養いながら学びをデザインし、選択科目の充実、協働学習、実社会で役立つ教育、起業家精神の醸成といった特長のもとに学び、自らの道を切り拓くことができる学校である。目的意識を持って入学してくる生徒がほとんどで、在学中にビジネスを探求しながら将来を明確にしていると感じた。

11月14日（火）

○FC今治高校里山校

入試では学科試験を行わず、在学中も大学に行くことを重要視せず、主体性を持って困難に立ち向かい、次の時代を切り拓く世界の歴史を動かすキャプテンシップを持った人財「ヒストリック・キャプテン」を排出するために、先生、生徒ともに全国から募集している。取得単位を76単位まで減らし、野外活動や企業や実業と連携した様々なリアルプロジェクトを通して課題解決に取り組む等の特色を持つ学校である。

○愛媛県立松山南高校砥部分校

民間との連携により、特色を出すことを前提に残った学校であり、県内唯一のデザイン科で、レベルも高く、外部からの依頼がたくさんある。また、愛媛県にゆかりのあるゲーム制作会社「オートクチュール」が校内にサテライトオフィスを構えている。このような小規模校であっても専門性のレベルの高い特色のある学校は企業と連携しながら残すべきと感じた。

○愛媛県教育委員会

県立高校の再編整備を進める中、学校 OB や住民等の理解を得ることができなかつた一部地域で反対運動が起り、計画通り再編が進まなかつた。学級数を減らすことに加え学校の魅力向上の課題に取り組む必要があり、また小規模校が多くなってきているが小規模校が悪いわけではないという考えも考慮し、チャレンジシステムによる再編ということで、適正規模を3学級以上としながらも、3学級を下回っても、各市町1校に限り「魅力化推進校」として存続することが可能とした。このような愛媛県教育委員会の取り組みは富山県の再編を考える上で、非常に参考になった。

11月15日(水)

○高知県立高知国際中学校・高校

世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保することを目的とした、国際バカロレアに基づいた授業を実施している。国際バカロレア認定校については、グローバル社会で求められる高い志と、資質・能力を育むためにも、県内でも検討すべきであると感じた。

○香川県立三木高校

単位制、二学期制、少人数学級が特長の学校である。単位制は、将来の生き方を考え、進路について研究し、進路希望などに応じて自分の時間割を作れ、得意分野をドンドン伸ばすことが可能である。また、二学期制や少人数授業も強みと感じ、豊かな知性や広い視野を身につけることができ、進路目標の実現を図れると感じた。県内でも導入できないか検討すべきと思う。

○11月13日

・広島県立宮島工業高校は、企業等と連携し3DCADや3Dプリンタ等最新のものを導入し、企業提案を繰り返し、世の中や人の役に立つことを視点に持ち、地域社会と協働して新しい価値の共創を行うことを学んでいて、まさに卒業しても即戦力となれる人材の創出を目指している。工業高校のあるべき姿と感じた。

・広島県立尾道商業高校では、情報ビジネス科に学科を統一し、選択科目を充実させ協働学習、実社会で役立つ教育、起業家精神の醸成といった特長のもとに自分の目標に向かって学ぶことができるということもあってか、生徒たちがイキイキと感じた。

○11月14日

・FC今治高校里山校は現在、次の時代を切り拓くキャプテンシップを持った「ヒストリック・キャプテン」の排出を目標に、先生や生徒を全国から募集中。これからの展開、どのような高校になっていくのか非常に楽しみに感じた。

・愛媛県立松山南高校砥部分校は、小規模校でありながら非常にクオリティーの高い県内唯一のデザイン科がある。クリエイター・デザイナーとしての学習を基盤とし、クラフトデザインコース、グラフィックデザインコース、美術大学受験コースがある。

新設のゲームクリエーションコースはゲームの制作に欠かせないデザインの学習を基盤とし、校内にゲーム制作会社の「オートクチュール」がサテライトオフィスを構え、実務をしながら生徒への実習指導や、講演を行っている。

県外からの生徒や、通学困難な生徒のため砥部町が独自に教育寮を建設するなど、高校に対する地元愛を強く感じた。

・愛媛県教育委員会では、高校の再編整備を進めるが反対運動が起こり、計画通り再編が進まなかった。中でも小規模校を残すため、適正規模を3学級以上としながらも、3学級を下回っても、各市町1校に限り「魅力化推進校」として存続することを可能としたチャレンジシステムの取り組みは富山県の再編を考える上で参考にしてもらいたいと思った。

○11月15日（水）

・高知県立高知国際中学校・高校では、国際的に通用する大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保することを目的とした、国際バカロレアに基づいた授業を実施している。国際バカロレア認定校については、グローバル社会で求められる高い志と、資質・能力を育むためにも、県内でも検討すべきであると感じた。

・香川県立三木高校は、単位制、二学期制、少人数学級が特長の学校で、自分自身で進路希望に応じた時間割を作成し、夢の実現のための第一志望合格に向けた勉強ができる。

進路探究の授業では、生徒の「知りたい！」という思いからスタートし、自らすすんで研究を深め、グループ内での発表を積み重ねることによって、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が養われ、1年生から自らの進路について真剣に考えるため、早い段階から進路希望の実現を目指すことができるなど、県内の高校でも参考にしてもらいたいと感じた。

広島県立宮島工業高校は昭和37年設立で現在61周年。工業系6学科を有し、特に工業高校の中でも女性が多いという特色がある(全校生徒656人中男子515人女子141人とのこと)が、その要因の一つにはインテリア科があること。インテリア科は実に8割が女子生徒である。50年前に工芸科を廃止してインテリア科を設置したそうである。

なぜ女子生徒が多いのだろうと教員に聞いたら、前述のインテリア科があることは要因の一つであるが、20年以上前から女子生徒が多いとのこと。つまり系統として、地元の女子中学生が進学先を選んでいるし、現在の女子生徒の保護者は宮島工業高校卒業生が多いそうである。学習内容がもちろん大事であるが、学校のイメージも大切であることが感じられる。学校の名前や学習内容の工夫により工業系の女子生徒の増加を目指すことが大切ではないかと感じた。

そのほかにも、地元宮島の組子細工をキーホルダーに加工することや地元食材を用いたクッキーの製品化など、宮島ブランドを強く意識して製品開発に取り組む姿勢が見て取れた。また探求プログラムにおいては地元企業が宮島工業とタッグを組みたいとのことで、実際に打合せをして3Dプリンタで制作、商品化を進めているとのことであった。これはインターンなどで数日地元の会社を訪問する以上に効果的であり、双方のメリットになると感じた。地域連携が大切と言われているが、宮島工業高校の地域連携の姿勢は、富山県の高校の連携に比べ、より強く太い連携を進めている姿勢が感じ取れ、このことはより地元回帰を促すであろうことが実感された。

尾道商業高校は明治20年創立の現在135年の歴史を誇る広島県で最も古い商業高校である。R元年度からスタートした「探求的な学習」において、その充実を図るために、ビジネス探求プログラムを導入した。学習習熟度を評価する指標として「マスターループリック」という手法を取り入れ、令和4年からは、商業科、会計科、情報科という3つあった学科を「情報ビジネス科」に集約した。

変わった点としては、まずは検定を受けさせて合格させることを目指すべきという考えを捨てること。また以前は定員200人中100名ほどを推薦で入学させていたが、R4からはスポーツ推薦を停止し、学びたいという生徒に来てもらえるよう工夫した結果、R5は191名の入学者数ということで推薦に頼らずとも学習内容で選ばれているということが見えてくる。

プログラムを実施して生徒以上に教員が変わったと校長先生が言っていたが、このことは非常に大切であって、生徒が育つために、まず教員が大切であることは間違いがない。教員採用倍率が年々減っていている現状において、教員の働き方改革等指摘はされているが、なにより働きがい、仕事の魅力を作り出すことが大切であろうと考える。

教員という職業が就職希望者に選ばれる職業であるために、尾道商業の取り組みを参考にする必要があると感じた。

愛媛県教育委員会では、生徒数の減少が目に見えている状況に際し学校の再編整備計画を前期（H16～25）後期（H24～R4）と立てたが、前期計画の実行中に反対運動があり後期計画（4校廃止4校分校化）が停止してしまった。その結果、定員割れの高校が多数という結果になり、再編の必要性が再び議論に上がった。そこで県教委では、R元年より高校教育課の中に「魅力化推進監」を設置し再編計画の作成をR2.9～R4.6までとして推し進めた。

再編の進め方として①12名からなる検討委員会を設置し7回の会議→②県下8地区各小・中学校高校校長を含めた地域協議会を設置し（合計168名）都合48回の会議を開催したうえでR4.7に再編計画（案）を公表。その後③地域説明会→④パブコメ→⑤意見聴取会を実施し反対する団体との協議も重ね、当初計画より2か月遅れたR5.3に再編計画が定められR5年度からのスタートとなっている。計画では現在の55校から10校を減らして45校とするが、一方で19の学科・コースを新設することとしている。

計画の策定にあたり、多くの意見を取り入れ、反対意見にも耳を傾けながら作っていったというこの手法こそが、富山県におけるこれからの高校再編の動きにおいて、もっとも重要な手法と考える。

最初から定員を減らします学科を減らします学校を統合しますと示されてしまうと、どうしても当事者は戸惑い反対せざるを得ない。最初から示すのではなく、ぜひ意見を聞いたうえで計画を策定するという手法を取り入れてもらいたい。

愛媛県では、学校の存続のために各市町それぞれに具体的な努力（財政補助等の、志望者増加に資する市町ぐるみの取り組み）も求めながら再編整備を進めている。生徒数全体の減少という大前提の中で、よりよい教育の姿、あるべき高校の姿とはなにか、ということに柱を据えて、たとえ反対意見があろうとも前向きに受け止め、歯を食いしばって推し進めている。

計画案を示したのちの意見聴取ではどうしても不満と反対意見が出てしまうので、是非とも計画策定の際から不満や反対意見、そして訂正意見などもできるだけ織り交ぜる形で進めることを、提案したい。

以上

報告者: 自民党富山県議会議員会政調会

富山県教育の未来を考えるPT

整理番号	1093		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和6年1月20日	から	活動の概要	富山県教育の未来を考えるPT 県外視察	
	令和6年1月20日	まで			
場所	徳島県		(内容)	(参加者)	
	神山まるごと高専				
別紙報告書			(行程) 富山空港→羽田空港→徳島空港 →(タクシー)→神山まるごと高専 →徳島空港→羽田空港→東京駅 →富山駅→(タクシー)→富山空港		
			金額	金額	
航空機	67,340円×3名	①	202,020	国内取扱手数料	1,100円×3名 ③ 3,300
鉄道(JR)	12,960円×3名	②	38,880	研修費	10,000円×3名 ④ 30,000
鉄道(京浜急行)		⑥	330	タクシー	12,010円+12,250円+7,300円 ⑤ 31,560
自家用車	@37 ×	km =			
リース車	@18 ×	km =			
有料道					
駐車場				計	306,090
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和6年1月31日

教育PT 県外視察（徳島）

月・日 令和6年1月20日（土）

場 所 徳島県

参加者 永森直人・瀬川侑希・寺口智之

【旅行会社請求分】

		永森	瀬川	寺口	計	
航空券	富山→羽田→徳島	40,020	40,020		80,040	202,020 ①
	富山→羽田			12,700	12,700	
	羽田→徳島			27,320	27,320	
	徳島→羽田	27,320	27,320	27,320	81,960	
JR券	東京→富山	12,960	12,960	12,960	38,880	②
国内取扱手数料		1,100	1,100	1,100	3,300	③
計		81,400	81,400	81,400	244,200	

政務活動費対象額

244,200

939-0341
富山県射水市三ヶ2535番地6

No. 00516518-01
DATE: 2024年01月12日
PAGE: 1

観光庁長官登録旅行業第818号
株ニュージャパン
本社
登録番号: T523000
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ホルファートとやま

永森 直人 様
TEL : 0766-56-5440

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

			金額
<input type="checkbox"/> 出発日	2024年01月20日 (土)	(A00002)	
<input type="checkbox"/> ツアー名	永森 様 (徳島 AIR・JR)		
<input type="checkbox"/> 明細	永森 直人 様 航空券代 1/20 富山/羽田/徳島 ANA312/281 航空券代 1/20 徳島/羽田 JAL462 JR券代 1/20 東京/富山 国内取扱手数料	カモナト 様 (¥40,020 X 1) (¥27,320 X 1) (¥12,960 X 1) (¥1,100 X 1) 【税込金額合計】 ¥81,400 消費税10%対象 ¥81,400	¥40,020 ¥27,320 ¥12,960 ¥1,100 【内消費税額合計】 ¥7,400 (内消費税) ¥7,400

お支払いは弊社下記銀行口座へ
1月30日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座: 4038850
口座名: 株ニュージャパントラベル

ご請求額 ¥81,400

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥81,400

担当者

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

①-1

領収証

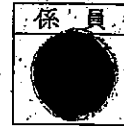
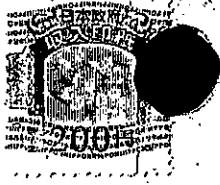
No. 30930

永森直人 殿

2024年 1 月 18 日

¥ 1,400 - (税込)

但し 徳島県 生涯学習として
上記の金額正に領収致しました



社 富山県奥田郡神領町 (ボルフアートとやま)
TEL (076) 431-2735 FAX (076) 431-2735
 ファボレ店 南砺支店 アルファザ小売店
 名古屋支店 金沢営業所

④-1

領収書

発行日 2023.1.20

永森直人 様

下記、正に領収いたしました。

金額： ¥10,000

但 視察ツアー参加費として

内
消費税等

学校法人 神山学園
〒771-3310
徳島県名西郡神山町神領字西上角175-
TEL : 088-676-1656

933-0807
富山県高岡市井口本江464-1

No. 00516517-01
DATE: 2024年01月12日
PAGE: 1

観光庁長官登録旅行業 第818号
（株）ニュージャパ
本社
登録番号：T52300
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ボルファートとやま

瀬川 侑希 様
TEL : 080-2382-5533

TEL:076-441-2000 FAX:076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

金額

<input type="checkbox"/> 出発日	2024年01月20日 (土)	(A00003)		
<input type="checkbox"/> ツアー名	瀬川 様 (徳島 AIR・JR)			
<input type="checkbox"/> 明細	瀬川 侑希 様	セリユキ 様		
	航空券代			
	1/20 富山/羽田/徳島 ANA312/281	(¥40,020 X 1)		¥40,020
	航空券代			
	1/20 徳島/羽田 JAL462	(¥27,320 X 1)		¥27,320
	JR券代			
	1/20 東京/富山 はくたか577 普通指定	(¥12,960 X 1)		¥12,960
	国内取扱手数料	(¥1,100 X 1)		¥1,100
		【税込金額合計】	【内消費税額合計】	
		¥81,400	¥7,400	
	消費税10%対象	¥81,400	(内消費税)	¥7,400

お支払いは弊社下記銀行口座へ
1月30日 までにお振込願います。

ご請求額 ¥81,400

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥81,400

振込先：北陸銀行 奥田支店 当座：4038850
口座名：（株）ニュージャパントラベル

担当者

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

領 収 証

No. 30931

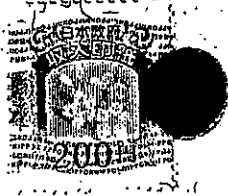
瀬川 侑希 殿

2024年 1月 18日

¥ 81,400-

(税込)

但し徳島県土産費用として
上記の金額正に領収致しました



本 社 富山県奥田郡神領町 (ホルファートとやま)
 TEL: 076-431-2735 FAX: 076-431-2735
 ファボーレ店 南 砺 支 店 アルプス稚小舎
 名古屋支店 金沢営業所

領 収 書

発行日 2023.1.20

瀬川 侑希 様

下記、正に領収いたしました。

金額： ¥10,000

但 視察ツアー参加費として

内
消費税等

学校法人 神山学園
 〒771-3310
 徳島県名西郡神山町神領字西上角175-
 TEL : 088-676-1656

観光庁長官登録旅行業 第818号
株式会社 ニュージャパ
登録番号: T523001002397
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ホルファートとやま

寺口 智之 様
TEL : 090-6524-4270

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

				金額
<input type="checkbox"/> 出発日	2024年01月20日 (土)	(A00004)		
<input type="checkbox"/> ツアー名	寺口 様 (AIR・JR)			
<input type="checkbox"/> 明細	寺口 智之 様	テラグチ トモキ 様		
航空券代	1/20 羽田/徳島	ANA281	(¥27,320 X 1)	¥27,320
航空券代	1/20 徳島/羽田	JAL462	(¥27,320 X 1)	¥27,320
JR券代	1/20 東京/富山	はくたか577 普通指定	(¥12,960 X 1)	¥12,960
国内取扱手数料			(¥1,100 X 1)	¥1,100
航空券代	1/20 富山/羽田	ANA312	(¥12,700 X 1)	¥12,700
		【税込金額合計】	【内消費税額合計】	
		¥81,400	¥7,400	
		消費税10%対象	¥81,400 (内消費税)	¥7,400

お支払いは弊社下記銀行口座へ
1月30日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座: 4038850
口座名: ㈱ニュージャパントラベル

ご請求額

ご入金額

今回ご請求額

担当者

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

①-3

領収証

No. 30932

寺口智之 殿

2024年 1月 18日

¥ 81,400-

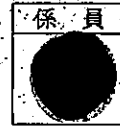
(税込)

但し 徳島県 出張費用として
上記の金額正に領収致しました



ニッポンレンタカー

本社 富山県奥田郡御幸町 (ボルフアートとやま)
 TEL (076) 431-2735 FAX (076) 431-2735
 ファボーレ店 南砺支店 アルプラザ小松
 名古屋支店 金沢営業所



領収書

④-3

発行日 2023.1.20

寺口智之 様

下記、正に領収いたしました。

金額： ¥10,000

但 視察ツアー参加費として

内
消費税等

学校法人 神山学園
〒771-3310
徳島県名西郡神山町神領字西上角175-
TEL : 088-676-1656

タクシー領収書

⑤-1

徳島空港→神山まると学園

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 1240号

2024年01月20日

乗車料金

¥12010円

立替金

円

(現金・チケット・クーポン)

内消費税額 1091円

消費税率 10.0%

上記の通り正に領収致しました。

登録番号: T9480002005949

(有) 寄井 観光

名西郡神山町神領字本野間25-3

TEL 088-676-0345

050-2024-3134

⑤-2

神山まると学園→徳島空港

領 収 書

No. 7700

日付 2024年01月20日

車番 102160 0000

基本運賃 ¥12,250円

合計 ¥12,250円

上記の様に領収致しました

消費税率 10%

毎度ご乗車ありがとうございます。

お忘れ物・お問い合わせは下記まで

ご連絡下さい。

有限会社 松茂タクシー

徳島県板野郡松茂町

笹木野字八北開拓274-1

088-699-2210

登録番号:

T8480002011320

⑤-3

富山駅→富山空港

領 収 書

No. 8279

日付 2024年01月21日

車番 000502 0000

基本運賃 ¥7,300円

合計 ¥7,300円

上記の様に領収致しました

消費税率 10%

登録番号:

T4230001004584

毎度ご乗車ありがとうございます

富山市太田12番地25

城南交通株式会社

TEL: 076-491-3738

⑥ 羽田空港→東京駅

NO.83173

領 収 書

瀬川 梢 様

金額 ¥330-

※課税10%対象 ¥330-

2024年-1月20日

上記金額正に領収いたしました

但し、乗車券 代金として

羽田空港1・2駅発行 1104

京浜急行電鉄株式会社

登録番号: T7010401009277

県外・海外政務活動報告書

富山県議会議員会

整理番号 1093 会派・議員名 富山県教育の未来を考える PT 瀬川侑希

活動名称	学校魅力化に取り組む他県の視察
目的	魅力ある学校運営に取り組む神山まるごと高専を視察
日程	令和6年1月20日（土）～ 令和6年1月20日（土）
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	1/20 神山まるごと高専
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	対応者： 1/20 神山まるごと高専 松坂 孝紀 事務局長/副校長 【同行者】 富山県議会議員 永森直人、寺口智之

行程・活動内容

1月20日 往路：富山空港→(空路)羽田空港→(空路)徳島空港。タクシー(約60分)で神山まるごと高専へ。

今年開校した神山まるごと高専を視察。日本で19年ぶりの新設高専。新設へのハードルの高さも大変印象的であった。「モノをつくる力で、コトを起こす人」をコンセプトに掲げ、テクノロジーとデザインと起業家精神の3つを特に大切にしている。学年約40人の生徒は全国から集まり(全寮制)、教員(民間経験者60%)や多数の起業家外部講師と、アクティブラーニング(能動的学習)、PBL形式授業(課題解決型学習)を中心に学んでいる(前に向いて行う授業はほとんどないとのこと)。学力よりも、学校の中身とのマッチングを重視する入試、入学してすぐに行われる「ITブートキャンプ」、失敗を恐れず挑戦し続ける「ベータメンタリティー」というキーワード、圧倒的な資金調達による授業料の無償化など、起業家たちが「こうあるべき、こういう人材に育てほしい」という理想像を形にした学校であった。

何より驚いたのは生徒の表情であった。私自身これまでたくさんの学校を訪れたことがあるが、自分の取り組み、また生き方・将来像を自分の言葉で話し、クラスメイトとの協働や衝突まで活き活きと、そして前向きに捉えて話す姿は、わずか1年弱しか在籍していないことを忘れさせ、こういう学校が日本にあってよかったと思われた。生徒とディスカッションする時間もあったが、どの生徒も「この学校を選んでよかった」と本気で語っている様子だった。富山県で議論が進む高校再編と高専でジャンルは違うが、富山県教育もこのように生徒に思ってもらえる環境を目指さなければいけないと改めて感じさせられた。特に、生徒の刺激にどうやったらなるのかを重視し、仮に外の力が有効であるならば積極的に利用すべきだ。

復路：タクシー(約60分)で徳島空港へ。徳島空港→(空路)羽田空港→(鉄道)東京駅→(鉄道)富山駅→(タクシー)富山空港。

※日帰りの政務活動を含む。

1月20日、早朝7時10分のフライトで富山空港を出発し、羽田乗り継ぎ、10時15分には徳島阿波おどり空港に到着しました。富山空港を出て、およそ3時間後に四国に行けるとは。富山空港がある恩恵を改めて感じました。

今回の視察の目的地は、徳島県に昨年4月に開校した新設・私立の高専「神山まるごと高専」です。ずっと行きたいと思っていましたが、一般的な視察の受け入れは（人気が高すぎて）行っておらず、同校が行っている視察ツアーに応募しての参加となりました。

視察ツアーに到着すると最初は学校の寮での給食体験からスタート。全寮制の同校では、給食は重要な栄養補給源であり、やすらぎの時間。「給食にはこだわっている」との言葉どおりヘルシーでボリュームがあり、そして美味しかったです。

【神山まるごと高専とは？】

神山まるごと高専は、昨年2023年4月2日に開校、設置学科はデザイン・エンジニアリング学科の1科のみ、1学年の定員は40名の全寮制の高専です。

高専とは高等専門学校略で、公立・私立をあわせて全国で58校ありますが、「神山まるごと高専」は19年ぶりに新設されたということです。

富山県では「富山高専（富山キャンパス・射水キャンパス）がお馴染みですが、令和5年4月では中学卒業生8750人に対し224人（約2.9%）が入学しており、全国に比べるとその割合は比較的高いのではないかと思います。

【「起業家が心から欲しいと思った学校」をつくということが原点】

起業家が集まった場面で問います。

「学校で学んで良かったと思えることは何か？」

ほとんど誰からも手が挙がらないということです。

「では、学校で学んでおいたほうが良かったと思えることはありますか？」

そうすると、無数に手が挙がるということです。

そこで、育てる人物像を「モノをつくる力で、コトを起こす人」と定め、テクノロジー×デザイン×起業家精神を3つの柱として、単にアントレプレナーシップを身につけるだけでなく、自分で手を動かし、実現していく人を育てることとしました。

文系や理系といった概念にとらわれず、3つを柱に、「全部まるごと学べる」を新たにつくることがコンセプトになっています。

【授業以外も大切に。カルチャー（寮での暮らしや課外活動）の充実】

そもそも、なぜ神山町という交通の利便性が決して高くない場所に新しく学校を設置したのか？

学校の寺田理事長との縁が深い場所であったということであるが、神山町は「人と異なることをする人を応援する機運」がとても強い場所であったということ一つのポイントであったとの説明が印象に残りました。

そこで学ぶ子どもたちにとって、その地域のもつ空気は思いのほか重要であるということであると理解しました。

「子どもたちが成長する場面」というのは決して授業の中にはなく、寮内の日々の暮らしやサークル活動、地域の皆さんとの触れ合い、起業家の皆さんとのふれあい、つまり「他者との関わりの中にこそある」。このことが非常に重要なポイントであると感じました。

視察の最後に、そこで学ぶ4人の生徒と座談会がありました。その女の子は、昔からドラえもんが大好きで、ロボットに昔から興味があったということでしたが、コミュニケーションはあまり得意でなく、大人と話すことは大の苦手だったとのこと。しかし、入学して1年たった今、大人7、8人を前に、次々と出てくる質問に的確に答えを返す姿は、自立した大人へと着実に成長しているのではと感じさせるものでした。

【富山県で真似できることは何か？】

富山県では、現在、県立高校再編の議論が進んでいます。

再編において、偏差値にとらわれない、受験のみに軸足を置かない学校の存在も重要ではと感じます。好きなことができる学校、実践力に比重おき地域や現場と密着した学校、コミュニケーション能力を高めるような発表対話型授業の導入する学校を創設していくことが考えられます。

視察ツアーの流れは、①給食～②学校づくりの歩みのプレゼン～③学校施設見学～④教育活動の紹介～⑤学生との座談会～⑥フリータイムという組み立てであった。

②の学校づくりの歩みに関して事務局長の松坂氏から説明を受けた。

創業メンバーの想いとして、「起業家たちが心から欲しいと持った理想の学校」を作るところから始めたとのことであったが、メンバーそれぞれの学校の経験について話し合った際に、「学んでよかったこと」という意見はあまり出ず、「学んでおきたかったこと」についての（後悔の？）意見が多く出てしまい、それでは、メンバーが学びたかったことについて、それを学べる学校を作ろうという話になったそうである。

このことは、今の学びが、将来の自分のための学びではなく、進学や就職といった、試験勉強や受験勉強といった、中学卒業後、高校卒業後といったすぐ目の前の課題にしか目を向けられていないという現状に気づかされた思いであった。

私立の高専設立のために文科省の認可を受けるということがいかに大変なことであったかということは、説明を受けて実感はしたものの、それ以上に苦しみ連続であったことが想像される。「設立までこぎつけたわけだが、同じことはもう二度とできないほど辛かった」と、代表の寺田氏のインタビューが紹介されていたが、そこまで厳しい認可制度にも問題を感じてしまう。

また、学生との座談会という時間が設けられていて、今回は4名の学生が一人ずつそれぞれ視察参加者数名を担当し、様々な質問に答えるというもので、一時間ほど時間が設けてあった。

我々も興味本位でいろいろ質問を投げかけるわけだが、それぞれの学生が実に的確に自分のことや学校について説明し、意見を述べている。たった一年足らずの学校生活で、15、6歳の少女がここまで成長できるのかと、シンプルに感銘を覚えた。

私のグループの京都出身の方は、中学と同じ3年間を送りたくないということが主目的でまるごと高専を受験して合格したそうで、中学生まではスポーツも勉強もある程度何でもできてやりたいことを探している感じだったが、この高専に来てからは、様々な情報や、やるべきことが膨大で探すよりも目の前に迫る課題を乗り越えることに精一杯とのこと。1クラス44名で全寮制ということで、人間関係などの煩わしいこともあるにはあるが、そんな暇はないくらいに忙しい（充実している）とのことであった。

そういった中でも、部やサークルを自ら考え立ち上げたりする学生がいたり、自身の好きなことややりたいことに力を注いでいるそうで、何より学校生活が楽しいと断言している。

23年から立ち上がって、学生たちはまだ一年生ばかり。この後に先輩も入学して、5学年がそろい、また就職や進学する際にどういった進路を選択するのか、4年後、卒業間近にでももう一度現地を訪ねたいものだ。

モノを作る力でコトを起こす人づくりをするという学校のコンセプトが、どの様に実を結ぶのか注目していきたいと感じた。

視察を終えて、富山県の教育にこのような、突き詰めた考えの学校が必要なのか、と問うならば、あった方が、こども達にとっては選択肢にもなり、未来の富山県にとってプラスの効果をもたらすであろうと実感している。

以上